

Swing リサーチ ローカルアクト「地域が抱える問題の解決」

指導計画

	テーマ	内容
1	ブレインストーミング	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域が抱える問題」探究活動の説明 ・問題解決とは？ ・ブレインストーミング
2	Resas 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・Resas の使い方 ・地域の現状ワーク
3	テーマ設定	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の見つけ方 ・カテゴリ別 問題点の抽出ワーク
4	テーマ設定	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でテーマの設定 ・ワークシート作成
5		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート作成の続き ・現状分析（データの収集） ・出典表示について
6	スライド作成	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド作成 ・問題点と現状データ
7	スライド作成	<ul style="list-style-type: none"> ・解決方法を考える上での注意点 ・スライド作成上の注意点
8	中間発表	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点とその現状分析について
9	スライド作成	<ul style="list-style-type: none"> ・解決方法を考える上での注意点
10		<ul style="list-style-type: none"> ・スライド作成上の注意点
11	グループ発表	<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価 代表者選出
12	クラス発表	
13	要約 ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・要約文 ポートフォリオ作成

1 時間目：ブレインストーミング

準備物：付箋 ワークシート1 6グループに分ける

スライド 1-7	導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域が抱える問題の解決」についての説明 ○問題解決について説明 ※自分の問題をワークシートに記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 1 配布
スライド 8-11	7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ブレインストーミングのルール説明 例示 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋配布 ・A3の白紙配布 ・付箋追加推奨
グループ	7分	<ul style="list-style-type: none"> ○鉛筆の使い方について考えることを指示 ※個人で考えて付箋に記入 	
	7分	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ内での意見共有（A3の紙に貼っていく） ※グループ内で意見共有 	
スライド 12-13	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○意見のグループ分け ※グループ分け 転記 ○時間があれば各グループの意見の紹介を 	
	3分	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめ 	

2 時間目：RESAS の使い方

準備物：生徒タブレット 6 グループに分ける metamoji のワークシート・グループ設定

スライド 1-2 resas	導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ※検索サイト「resas」で検索 ○電子黒板で操作方法を見せながら使い方を説明 スライドの設定テーマに関して一通り見せる 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作させながら
スライド 3-6	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○snippingtool 画面切取,powerpoint に貼付方法の説明 ○各グループに担当課題(6 テーマ)を与える ※グループの課題を個人で作業してスライド作成 ※metamoji にグループ代表者のスライド画面を貼付け 発表説明方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドは様式無
個人 グループ	15分 5分		Metamoji ワークシートの説明
グループ スライド 7	5分 3分	<ul style="list-style-type: none"> ※隣のグループと相互発表 ○データ分析支援機能の紹介 	
	2分	○まとめ	

3 時間目：地域の問題点抽出

準備物：生徒タブレット ワークシート metamoji のワークシート・グループ設定

スライド 1-3	導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○問題点抽出の手順・注意点について説明する ○問題点の具体化・焦点化(4W1H)について説明 	
スライド 4	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○7 グループに分け、各班にカテゴリーの割り振りする 各カテゴリーで連想する問題点を metamoji 付箋機能で入力させる(後で移動させて順番に並べるので具体焦点化されてなくても OK 入力する場所も適当で) ○できるだけ多く入力させる(人の意見を見てひらめくことがあったら入力 ブレイクシングと同じ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が抱える問題であることを再度確認
個人 グループ	10分 15分	<ul style="list-style-type: none"> ※metamoji 立ち上げ 付箋入力 ※metamoji 上で付箋を移動させてロジックツリーの形にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・Metamoji 操作方法の説明 ・付箋追加推奨 ・各グループの進捗状況を電子黒板に投影
スライド	2分	○まとめ	

4 時間目：各自テーマ（問題点）設定

準備物：生徒タブレット ワークシート 3

各クラスの成果物(metamoji ロジックツリー)をすべて閲覧できるようにしておく

スライド 5-10	導入 13分	○テーマ設定の手順について説明する 「熱中症増加の解決方法（PEST 分析）」まで説明	・ワークシート 3 配布
個人	30分	※前時の metamoji シートを見ながら考える <u>カテゴリは前時に担当しなかった分野でも可</u> ○進捗状況の確認	・地域が抱える問題であることを再度確認 ・ワークシートの回収
	2分	○まとめ タイムスケジュール等について	

5 時間目：各自テーマ（問題点）設定Ⅱ

準備物：生徒タブレット ワークシート 3

スライド 11-13	導入 10分	○前時の続き 本時にワークシート完成の指示 解決方法の考え方(PEST 分析等)と熱中症増加であれば、どのようなデータが必要になるかの説明 必ず 2 つは完成させる	・ワークシート 3 返却
個人 スライド 14-16	30分	※ワークシートの完成 ○進捗状況を確認し、完成者がでたら、全体の作業を中断させて 3 つのうちから 1 つを選ぶこと。PowerPoint のスライド作成について説明（特にテーマ設定は具体化・焦点化されたものであることが重要） ○PowerPoint のファイルは OneDrive に保存させる 9999 を 4 桁番号に変えさせる	・地域の問題であることを再確認 ・安易な内容には修正の指示 ・スライド様式の配布(teams)
まとめ	2分	○まとめ タイムスケジュール等について ○ワークシート回収	・いつまでに何を完成させるか、今後どのように進めるか

6 時間目：スライド作成

準備物：生徒タブレット ワークシート

スライド 14-18	導入 3分	○スライド作成時の注意点について ○中間発表について(発表の仕方もイメージさせる)	ワークシート返却
個人	40分	※スライド作成	・安易な内容には修正の指示
まとめ	2分	○まとめ タイムスケジュール等について	・いつまでに何を完成させるか、今後どのように進めるか

7 時間目：スライド作成

準備物：生徒タブレット ワークシート

スライド 14-21	導入 5分	○スライド作成時の注意点について 再度説明 ○中間発表について タイムスケジュールの確認	スライドのファイルは OneDrive に保存させる
個人	40分	※スライド作成 ○スライドの OneDrive ファイルを担当・副担任と共有させる(担任・副担任は PowerPoint のコメント機能を使ってアドバイスができる)	・安易な内容には修正の指示

8 時間目：中間発表 スライド作成

準備物：生徒タブレット グループ分け (4人程度)

	導入 5分	○発表方法の説明 発表順番決め 発表時間は2分程度 タブレットの画面を見せながら	
個人 スライド 14-21	10分 5分 20分	※グループ内中間発表 ○スライド作成時の注意点について 再度説明 PowerPoint コメント機能でアドバイス ※スライド作成	・安易な内容には修正の指示
まとめ	3分	今後の予定等について	

9・10 時間目：スライド作成

準備物：生徒タブレット

スライド 14-21	導入 5分	○スライド作成時の注意点について 再度説明 ○グループ発表について タイムスケジュール等の確認	・ループリックの提示
個人	40分	※スライド作成	・安易な内容には修正の指示

11 時間目：グループ発表

準備物：生徒タブレット 6グループに分ける

スライド	導入 3分	○発表方法の説明 発表順番決め 発表時間は5分程度 タブレットの画面を見せながら 相互評価実施	ループリック (採点表) の配布
グループ	42分	※グループ内で発表 発表(5分)+評価(1分)+入れ替え(1分)=7分 グループ内で最優秀者は次時のクラス内発表	・7分ごとに時間管理が必要

12 時間目：クラス内発表会（例年は公開授業）

準備物：発表者のファイルを教員用タブレットにダウンロードしておく

スライド	導入 3分	○発表方法の説明 電子黒板に写す	ループリック（採 点表）の配布
	40分	※発表会	
まとめ	2分	○講評等	

13 時間目：要約 ポートフォリオ

準備物：生徒タブレット

	導入 3分	○要約、ポートフォリオの趣旨等説明 Teams の課題機能を使って様式ファイルの配布と回収	
個人	40分	※生徒は指示された作業を実施	
まとめ	2分	○締め切り日等の連絡	